

1. 件名：「日立造船（株）特定兼用キャスクの型式証明申請（Hitz-B69 型）に関するヒアリング【11】」
2. 日時：令和5年10月20日 13時30分～16時00分
3. 場所：原子力規制庁 9階A会議室
4. 出席者（※・・TV会議システムによる出席）
原子力規制庁：
（新基準適合性審査チーム）
岩澤安全規制調整官、寺野管理官補佐、松野上席安全審査官、櫻井安全審査官
（核燃料施設審査部門）
甫出安全審査官※
（システム安全研究部門）
小澤システム安全政策研究官※、福田主任技術研究調査官
後神主任技術研究調査官
日立造船株式会社：
脱炭素化事業部 プロセス機器ビジネスユニット 原子力機器事業推進室
室長 他8名※
5. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
6. その他
提出資料：
資料1-1 発電用原子炉施設に係る特定機器の設計の型式証明申請 設置許可基準規則への適合性について（コメント回答2）
資料1-2 補足説明資料 16-1 16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設（別紙2及び別紙3抜粋）
資料1-3 補足説明資料 16-3 16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設 遮蔽機能に関する説明資料
資料1-4 補足説明資料 1-1 申請時からの変更（補正）内容について
資料1-5 Hitz-B69 型 ヒアリングコメント管理票

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:05	では、
0:00:25	パワポ資料補足。
0:00:27	資料はもう
0:00:32	基本は多分これからパワポ資料
0:00:38	で言うと、記載通りの
0:00:42	ある、ない。
0:01:39	ちょっと待って。
0:01:41	の順番ですけども、
0:01:42	要は、
0:01:44	母子資料の、
0:01:48	ページ目で、
0:01:50	これ順番に、
0:01:58	16、
0:02:01	どう、
0:02:02	だから、
0:02:03	ちょっと遮へいの、
0:18:53	お父さんいかがでしょう。
0:19:01	規制庁小澤です。ご説明ありがとうございました。
0:19:08	すいません今ちょっとだけ席外してたんですが、ご説明いただいてそれで、
0:19:14	ご説明していただいた内容について、
0:19:17	何かという。
0:19:19	ポイントというか、そういう話です。そうです
0:19:23	少し技術的なところをさっき、
0:19:25	はい。
0:19:26	あれば、
0:19:28	はい。
0:19:30	わかりました。
0:19:33	まず、
0:19:35	4市、
0:19:36	こんばんは。
0:19:39	はい。
0:19:48	153番のコメントについてなんです、
0:19:53	これ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:56	質問というか、コメントさせていただいた趣旨は、
0:20:00	長期健全性にどのように関連するのかということ。
0:20:04	これ当初ないのですね。家処理を細かくすることで、
0:20:11	な、それをなぜ要求事項とするのかというお話ですけど、伺ったんですがこれは、
0:20:20	結局は、最初材料の靱性や共同
0:20:25	を保証できればそのあと温度が低いから、そんなに強度とか、或いはクリープとか起こさないし、強度低下も起こさない、そういう考えで
0:20:37	当初の結晶粒度を細かくするという、そういう考え方でよろしいです。
0:20:44	はい。コメントありがとうございます。小澤様、ご指摘の通りです。日立造船の竹内です。失礼いたしました。
0:20:52	鋼のプレート結晶流動が変化する本
0:20:57	ね、こちらはオオクマ系賀荘司始める温度というのがおよそ 700 前後ということでありまして、共用の温度というのは 300 度、2 万、
0:21:08	ということなので、大洲ないと理由に影響を及ぼす温度をニワアノ供用中には達しないと。
0:21:16	従いまして、元の粒径さえ見ておけば、その時の人生ですとか、強度とかということが、供用期間中に変化することはないという、今、小澤様にコメントいただいた内容の通りでございます。以上です
0:21:33	はい、了解しましたありがとうございます。
0:21:36	あと
0:21:38	表別 3-6 の、
0:21:41	(15)、新たに加えていただいた文献 7 番、なんですが、
0:21:48	これは
0:21:52	溶接割れ感受性指数っていうかね、PCって定義されてましたけど、
0:21:57	それを、校長旅行の酸素とかシリコンとかマンガンとか、そういう構成成分から、
0:22:06	求めて、
0:22:07	それ一で溶接割れ感受性を評価できると。
0:22:12	いったものだったと思います。それで、その数式に今回の
0:22:18	成分を当てはめて、
0:22:20	それで溶接割れ、
0:22:23	感受性が低い材料だということが評価できるから、
0:22:28	この溶接性の評価は不要と、そういう理解でよろしい。
0:22:35	先ほど説明していただいた通りだと思うんです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:39	はい。滝造船の樋口でございます。ご理解の通りと。
0:22:43	で、ここですね、
0:22:46	その上限、
0:22:50	適用範囲というのが、
0:22:55	菅古藤両だけ。
0:22:57	感受性だけで言えばですね。
0:23:01	0.5ぐらいまで
0:23:03	範囲が広がる可能性はある。
0:23:06	適用範囲が0.
0:23:15	基本設計は、
0:23:21	はい。
0:23:21	はい。
0:23:22	その紙、評価する資質質問なんですけど、結構水素が効いてくるというお話があったと思うんですが、今回の製造工程で水素が入ってくるという可能性は低いという。
0:23:37	はい。ご理解の通りでございます
0:23:41	ありがとうございます。
0:23:44	それであと、あと、ちょっと最初の方に戻るんですけど、今回、応力助教所存。
0:23:54	の工程を含めることとされたということなんですけど、
0:23:58	これ、
0:24:03	後にレーザー溶接が入るんですね。
0:24:06	で、レーザー溶接でまたあまり大きくはないかもしれないけど、溶接金属とカトウ熱影響部にひずみが入るわけで、
0:24:17	その辺の評価というのは、どうされていますか。
0:24:22	率直に言って溶接の後、所存ちゃえばいいんじゃないかなという、そういう気もしたんですが、
0:24:31	どういうお考えでそのようなコーティングされたか。
0:24:35	教えていただきたい。
0:25:09	すいませんちょっと声が途切れ途切れで聞こえなかったんですが、申し訳ないです。もう一度。
0:25:14	お願いします。
0:25:49	はい。わかりましたお考えは、わかりました。どうもありがとうございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:58	それとですね、松野さん続けていいですかもう1点だけ続けて大丈夫です
0:26:06	今回、溶接事故応力助教小論を工程に含め、
0:26:13	られたんですけど、
0:26:15	呉で、
0:26:17	実際、コンパートメント、
0:26:21	として使う時です。
0:26:24	コンパートメントに使われている材料の強度とか、
0:26:30	そういうものを溶接金属のほずも含めてです。
0:26:33	その辺が評価されて、初めてこの材料、
0:26:39	この工程で
0:26:41	キャスクの分コンパートメントに使えるという、説明になると思うんですが、
0:26:47	今のところ示されている。
0:26:50	在英試験結果強度上の試験結果は、別紙3の別添2ですかね。
0:27:00	別紙の3-38ページ。
0:27:02	からですねいろいろ機械的特性評価していただいているんですけどこれは、
0:27:07	年間発電ママの強制拡大。
0:27:10	生食所確保した。
0:27:15	ままのものということで、実際に共用する材料とは、特性が異なる可能性はあるんですが、
0:27:22	そこはどのようにお考えでしょう。
0:27:26	この型式証明の説明として、その図、地下材、地下材料とまでは言わないですけど、かなり
0:27:35	特性が違うかもしれない材料を、説明に使うというのは、どんなお考えかということで、
0:27:44	教えていただきたいと思います。
0:27:50	日立造船の由井です。少々お待ちください。
0:27:54	はい、承知しました。
0:28:09	すいません。お待たせしました。日立造船の武内でございます。照度んについて、これまで照度施していない材料に対して評価した。
0:28:20	試験結果に対して荒谷勝井を行うことで、機械的な強度が変化する恐れがあるのではないかというコメントと、理解いたしました。
0:28:30	これについてですね、まず勝井の温度域です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:35	先ほど大瀬ナイトウが生じ始める温度 700 と全部、
0:28:40	申し上げました、これよりも低い温度、ザンリョウリョクを除去する目的のみで行う熱処理を予定しております。
0:28:49	従って、材料強度に与える影響はおそらくないだろうというふうに弊社では考えております。
0:28:57	以上です。
0:29:01	規制庁の小澤です。ご説明ありがとうございます。私が一見している分冊化の教科書では、
0:29:11	熟女拳証損或いは歪取小損、
0:29:15	であってもですね、機械的な特性わけ、強度はちょっと落ちるとかです。
0:29:20	そういう記述、説明は、がなされています。全く、
0:29:26	影響はないということは言い切れないと思うんですが、
0:29:31	いかがでしょうか。
0:30:00	日立造船の樋口でございます。
0:30:04	記載してない。
0:31:30	規制庁小澤です。それではその文献も含め、割合です。
0:31:35	ご説明いただければと思います。
0:31:37	私がこの※コメントというか質問させていただいたのは、1970 年から 80 年代に応力除去勝井脆化というのが、そういう事象が報告されていると思います。
0:31:52	スギタなので、そんなに長時間は小損しないはと思いますから、
0:31:57	その辺の心配はないのかなと思いつつも、ちょっとその辺の評価もですね含めてご説明いただければと思います。以上です。
0:32:07	クドウの。
0:32:09	コメントありがとうございました。
0:32:27	はい。
0:32:51	はい、わかりました。
0:32:53	小澤ですが以上です。
0:32:56	はい。
0:33:05	ウダです。
0:35:51	当社といたし
0:37:57	規制庁のホデです。
0:38:00	先ほどの
0:38:05	共同共同試験の話で実際、本やりいただくということで、それはそれでいいと思うんですけれども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:13	実際に、
0:38:15	要はもう、
0:38:16	ここで使うSG295 剤というのは、
0:38:21	もう
0:38:23	いわゆる各科になった状態のもの。
0:38:26	のみですよねということの理解でよろしいですか、まず。
0:38:35	はい、わかりましたありがとうございます。
0:38:39	どのようなロジックでというところもあるかと思うんですけども、先ほどの最終的に溶接した後、
0:38:50	分かな。
0:38:51	先ほどのご説明だったら多分、材料強度決められる時に、例のガイドラインに従って、トレンドカーブでこう引かれているという、
0:39:02	古藤だと思うんですけども、
0:39:05	要は、
0:39:07	かなり初期の段階の、材料試験のタイミングってのはちょっとわかんないんですけども、
0:39:18	要は、
0:39:20	どんな形であり、余長なり何か作っという、それに対してカクウパイプのもので、なにがし試験編を引っ張って、
0:39:32	それでデータを取得する必要はあるかないかっていうところで、
0:39:40	先ほどその間で多分、
0:39:42	要はその今定めた部分に対して3支部ほど落ちることはないだろうというふうなお話がありましたけども、
0:39:50	そもそもの考え方からいくと、その使われるものの材料の、要はその何チャージからの試験にしたがって、それで、3σ、
0:40:01	なり何なりとってトレンドカーブ引いて、設計用の、要は、どうですかね。
0:40:07	材、材料特性を定めると思うんですけども、
0:40:12	そういうことではなくって、今回の考え方をもって、大丈夫ですよと、保証できますというところのなにがしのロジックについては、
0:40:24	追加でおやりになる、試験の結果も踏まえてですね、ご説明いただければと思います。以上です。
0:41:01	はい。日立造船の樋口でございます。
0:41:29	はい。わかりましたただロジックとしてですね、
0:41:34	要は、その試験さんって何って言ったら材料に、要は実際にその機器の中で使われる材料、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:43	使われる形状云々という話があるので、
0:41:47	どのようなロジックでご説明されるかというところはあるんですけども、その辺で、
0:41:54	いやいや、
0:41:56	バーजनに近い中間製品で中間製品的なところで材料試験やったことで、最終的な材料の強度なり何なりそのあとのその後工程が入ってくるものについても、
0:42:08	これを使っておけば大丈夫よというところの、ロジック構築だけはちょっとお願いしたいと思います。以上です。
0:42:22	はい。お願いします。
0:43:09	今回、
0:43:14	に対して応力除去しようとするれば、
0:43:35	ずれている。
0:52:01	で、
0:52:03	13 ページ目で、
0:52:14	一段落目で、
0:52:18	サイトウの量が多く、多くの
0:52:24	融度から始まる間以下であれば、
0:53:11	社員は、
0:54:11	例えば、
0:54:13	しかしのところでは。しかし調査の結果、
0:54:16	経営することが、
0:54:18	その次の段。
0:54:23	前回、
0:54:25	入れ替え、
0:54:26	多分、造船としてはこの材料の
0:54:34	この辺りが、
0:54:39	資料、
0:57:29	映画。
0:59:38	するため、
0:59:42	ちょうどした材料、
1:00:44	証明で定めた。
1:00:47	いう。
1:00:49	15 ページ。
1:00:54	⑦で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:47	されれば、
1:02:03	今回、
1:02:05	ナカイ5に向けてこのパーツとして、
1:02:09	今回そのコメント回答。
1:02:16	やっぱりこのSG、
1:02:48	そうです
1:02:52	参考資料で、
1:02:56	日立造船の樋口でございます
1:03:06	長田ですが、よろしいでしょうか。
1:03:12	先ほど、
1:03:14	まずのが申し上げましたが、
1:03:18	加納ナカ、根拠資料に対して、
1:03:22	説明資料に対して根拠。
1:03:24	をつけるように、示すようにという話があったと思います。それで、先ほど樋口さんは、可能な限りつけますということをおっしゃったわけですが、
1:03:36	我々この審査では、
1:03:40	根拠のある、説明に対して、確認をするものであって、こう思ってるとかこう考えているっていう。
1:03:49	ことだけの説明は、
1:03:52	これ、技術的な説明にですね、体制成り立たなくなるんじゃないかなと考えます。
1:03:58	そう考えるのであっても、考える根拠をですねしっかり示していただいて全体の説明を構築していただければと思います。以上です。よろしくお願いいたします。
1:04:16	サトウ線の樋口でございます
1:04:18	いたします。
1:04:23	お願いします。
1:09:50	コメント番号
1:09:51	56番、
1:09:54	クランプの構造強度に影響を及ぼさないことは一切、
1:09:58	理解いただきまして、説明内容で誤解を招く表現があるため、
1:14:12	最初
1:14:28	こちらからの指摘は、
1:14:37	味である。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:41	はい。
1:14:41	ないようで。
1:14:43	磯。
1:14:46	評価
1:14:49	まずは、
1:14:56	これは、
1:14:58	大戸の、
1:15:02	同じ。
1:15:08	記載。
1:15:19	他何か。
1:15:24	阿部さん、いかがでしょうか。
1:15:32	え。
1:15:33	とですね、規制庁の方ですけども、幾つか確認と、説明の仕方というところで、
1:15:43	事実確認をさせていただきたいと思います。
1:15:48	と先ほどの樋口さんのご説明の通り、
1:15:52	要は、
1:15:56	もともとはクランプって、要はその外部事象とか、一般の試験条件とか、
1:16:06	そういうものに対して、何らかの安全機能を維持するために寄与してるわけではないと、理解しています。
1:16:17	従って、クランプが、要はクランプっていうかあの部分ですね、クランプ部と言った方がいいのかもわかりませんが、
1:16:25	この部分がなくても、バスケット自身が組み立てられて、キャスクの中、同内部に収まった段階では、胴の内部で、
1:16:36	5度の内部で要はバスケット構造が拘束されているような、増設計となっていると。
1:16:44	いうことで、
1:16:47	結局そういうフリーな状態で考えたとしても、結局は、
1:16:53	要はその構造体として離れてるところに、1.3mmですかね。
1:16:58	寒いですね、1.3mmの、要はギャップができるだけですと。
1:17:04	別に他のところは、健全なんですよというふうに理解したんだけどその理解で正しいですか。
1:17:16	はい、わかりました。
1:17:18	じゃあ次の確認なんですけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:23	これは表現ちょっと見直された方がいいんじゃないかなということで申し上げます。
1:17:29	ところで、アノズ、
1:17:33	図で、そのクランプの断面図をゴコウを示しいただいてるんですけども、
1:17:39	要は、ここの寸法でも出てて、出てるんですけども、
1:17:43	要は、1.3mmだけど 1.5mm、もともとあるからっていうのはね。
1:17:49	結局、
1:17:50	確かに数字は 1.5の方が 1.34。
1:17:55	寸法から見れば、0.2 ミリなんですねこれ。
1:17:58	しかも、ものっていうのは、当然製造公差とか、そういうものが存在するわけですから、あまりこの 1.3 に対して 1.5 っていうのは、
1:18:10	得策な
1:18:13	要は説得力のある説明にはならないんじゃないかと。
1:18:16	一般に、要は表に、例えば、当然ある程度、処分した後、表にある程度のところは出るかもしれませんが、
1:18:25	この数値が出たときに、普通の人が見ても、ものってこうサノにこんな、これでOKっていえるのっていう議論が出てくるような気がします。
1:18:36	従って、あまりその 1.5 と 1.3 の比較っていうのは得策ではないんじゃないですかっていうのが、
1:18:43	次の、
1:18:45	指摘までいかないですけども、ちょっと気づきということで申し上げたいと思います。
1:18:55	先ほど県、
1:20:02	すいません規制庁ホデですけども、よく、
1:20:05	はっきり言うとよくないし、新たな疑義を産んでしまうような気がしますので、実際に
1:20:14	状態を踏まえたですね、いろいろ評価やれて、
1:20:18	実際ここに荷重がかかってないことはわかっているので、であれば、もう説明としては、機能を説明した上でこんなもんで何も寄与しませんと。
1:20:29	で、評価してるときには、丸、もう全然、
1:20:33	そういう効果はなしで、評価をいたしましたと。その結果こういうものはこれぐらい動くんですよ。動いても、例えば未臨界とか、先ほどご説明の中では、未臨界という言葉が出てきておりましたけれども、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:49	当然除熱にしてもこの程度の隙間だったら影響ないだろうというのはわかるんですけども、要は安全機能に対してですね、何がし、その評価の中でパラメーターを使っている、その辺、変化するところを、
1:21:04	パラメーターで使っているところについては、ご丁寧にご説明いただくということが大事かなと考えております。
1:21:12	私どもはだから、以上です。だから説明の仕方ですね、
1:21:21	最初に、どういうものですよということを、ようクランプってこういうことなんですけども、
1:21:27	もう、そもそも金、目的って言ったらおかしいけど、
1:21:33	その辺の目的を、先ほど松野さんの話もちよっと出てる、関連するんですけども、目的を明確にさせていただいた上で、実際取扱所、輸送だろうが貯蔵だろうが、おそらく、
1:21:46	どうだっていう、あんまり関連するようなところはないような、
1:21:51	要は胴の内面で拘束されるというのが非常に大きいところではないかというふうに理解しておりますので、
1:21:58	その辺を踏まえて、ご説明をお考えいただければと思います。以上です。
1:22:39	長福田です。
1:22:41	これさんのおっしゃりたい。
1:22:51	うん。
1:22:54	要はそれが一番、すいません規制庁の方ですけども、前回のご説明では、そのようなご回答いただきましたので、
1:23:03	それが一番印象としては大きいのか、ナカで結構密に詰まっているところで、要は全体の変形が拘束される設計ですよってところが一番大きいのではないかなと考えたので、
1:23:16	それであれば、そのことをちゃんと説明していただければいいのではないかなと考えてます。
1:23:24	はい。
1:23:37	はい。よろしく申し上げます。
1:25:03	はい。
1:26:06	はね、
1:26:48	使われている。
1:26:50	それを、
1:26:52	要件でも、委員会の影響評価をするか。
1:26:57	に関し、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:59	竜巻、
1:27:06	大幅に小さい。
1:27:15	中間影響を与えるような、
1:27:17	クドウはない。
1:27:18	半田。
2:00:53	規制庁の方向です。
2:00:55	今の点は
2:00:58	ご理解いただいて対応いただけると。
2:01:01	それやっていたらいい。
2:01:03	衛藤。
2:01:07	から出てきて、この 3-3 という章に出てくる。
2:01:11	0.3。
2:01:14	次の表の、
2:01:16	中で最大値を拾ってきて、
2:01:18	それを丸めたのが 0.3。
2:01:21	それが、このキャスクの表面の最大値になるので、
2:01:25	それが基準を満足してます。
2:01:28	という説明ですけども、
2:01:31	別紙の方では 0.3P値は実はこういう、
2:01:35	意味をはらんでますよっていうのが
2:01:39	我々としては、
2:01:41	過小評価があるというのは確実だっていうのは
2:01:45	申請者側も認めていらっしゃるんで、
2:01:47	それを込みでしかこちらとしては判断できませんっていう話、当然なっ て、
2:01:53	ただ申請書、この補足説明資料の本文の方で、
2:01:57	参考として出てきた戸部です。
2:02:02	この数字を差し替えてくださいという話では
2:02:08	そこの評価で考えられて考えた効果があるので、
2:02:14	実はこれぐらい、過小評価をはらんでいるけども、
2:02:18	それでも大丈夫だっていうのは、別紙の方でちゃんと、
2:02:25	上の方のページでちゃんと分かれば、
2:02:28	その情報も込みで、我々は、ミリシーベルト確かに下回りますねっていう 判断ができますので、
2:02:34	それがわかるような書き方であれば、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:02:37	だから、
2:02:43	ヤブキ佐伯
2:02:54	それともちょっと、もう一つ
2:02:59	今回、
2:03:00	いただいた最後の、
2:03:02	別紙 9 のところのMCNPの解析。
2:03:05	ところで、
2:03:07	別紙 9-7 ページに、
2:03:10	解析条件の表が出て、
2:03:13	一番最後の項目、統計事業で、統計誤差を 10%以下を目標値とします。
2:03:21	えーと、
2:03:21	結果としてどれぐらいになった。
2:03:52	とりあえず今の時点ではこの
2:03:55	少なくとも 10%以下を目指しますよっていう情報しか書かれていない。
2:03:59	例えば、
2:04:01	評価結果で、均質化モデルと品種化モデルの比較を行って、
2:04:06	一つのデータとして 20%程度違います。
2:04:11	この二つのモデルの結果 20%ずつ、
2:04:14	統計誤差が持ってくると。
2:04:16	この二つを比較して 20%違うっていうのは、あまり意味がなくなってきたかねない。
2:04:21	今、
2:04:22	大体 5%以下に抑えて、
2:04:26	その範囲で、
2:04:29	評価されていて、中心地で見たら 20%。
2:04:32	ぐらい下がりますってなれば、それは定量的な評価。
2:04:37	この辺り考慮
2:04:38	した上で、
2:04:40	結論を導かないと、モンテカルロ解析あんまり意味はない
2:04:46	一つ一つの評価結果にそれぞれ何%って書くのか。
2:04:51	今言われたようにまとめて、
2:04:54	何、すべて何%今押さえてあります。
2:04:58	それは説明のスカパーシライ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:05:02	まとめて書いても、ちゃんとこの説明の筋が通るのであればそれで結構だと。
2:05:08	どこか注目してここははっきり何%って言わないと、うまく
2:05:15	そういう考えもあるかと。
2:05:17	その辺の事情はよく、
2:05:20	考慮して、
2:05:22	記載振りを考えた上で統計誤差。
2:05:24	結果としての情報。
2:05:47	引間。
2:06:09	グリーは、
2:06:11	ヒライ
2:06:57	織田さんから何か。
2:07:24	すいません。はい。すいません。音入ってない。
2:07:27	しょうがないです。
2:07:30	先ほどあんまり聞き取れなかったんですけども、
2:07:33	そもそもDLC23を、
2:07:36	ここの最終的な、
2:07:38	評価、評価に使う、その解析に使うライブラリーとして選ばれたというところ。
2:07:44	当然ジェンドルの話は、すでにこれまでいくつかの申請とか何とかで、議論だったり、
2:07:56	当然、
2:07:58	こういうふうにもね、並行して出されてるっていうことは問題認識されて、
2:08:06	補足説明資料のところの、別紙につけられたという、
2:08:10	ふうに思うんですけども、
2:08:13	そのDMCニジュウサンを最終的にや、要はこのそのメインストーリー私がメインシナリオを選んだっていうところっていうのは、
2:08:21	いろんな世の中の事情を踏まえてですね。
2:08:26	どういうところがあったんかなっちゃん、ちょっと教えていただけますか参考までに。
2:08:45	すいません。もっとはっきり言ってもらえば
2:08:49	聞こえますでしょう。
2:08:50	はい。もうすごい大きい声で言ってください。はい。
2:08:54	これまでの実績を踏まえてというところもありますし、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:08:58	ちょっと説明資料の
2:09:03	この方、
2:09:06	ライバルに適用した結果、
2:09:25	やはりああいうふうに、すいません規制庁の方ですけども、
2:09:30	やはりそこで先ほど何か要は後で、ジェンドルの話も出てるアノをどうするっていうところのお話も、
2:09:41	出てたと思うんですけども、その辺ある程度明記した上で、これを選択してなおこういうこともわかっているのっていうところですね。
2:09:52	後々、後々その申請書を見た人なり何なりが、そのプロセスがわかるような形で、補足説明資料の方にですね、なにがし説明を、
2:10:04	加えていただければと思います。以上です。
2:10:19	規制庁、
2:10:23	今このジョブコーチ役員、
2:10:36	はい。日立造船の方です。それでは指摘事項 17 ということで、資料 1-1。
2:10:42	22 ページ。
2:10:44	になります。
2:10:46	この指摘事項 17 は、入力値の誤りに対する対応で示している水平展開として、過去のキャスク評価でも同様な誤りがないか確認すること。
2:10:55	ということで、こちらは前回の審査会合で、
2:10:59	一つは入力値の誤りと、あとは、
2:11:05	申請時からの変更補正内容についてのご説明させていただきました。この内容のまとめにつきましては資料 1-4、こちらにまとめたものを今回準備しております。
2:11:15	はい。
2:11:16	それで今回この指摘事項としましては、この具体的な事象として一つ二つございまして、一つがバスケットに対する津波の影響評価ということで、
2:11:27	作用する加速度取り違え評価しないように、
2:11:31	キャスクの加速度が適切に示されていることの確認。
2:11:35	というのが一つと。
2:11:37	該当に対する竜巻飛来物の影響評価ということで、
2:11:41	ワークシートごとに異なる事象の混同による間違いのないよう、計算条件が適切に設定されていることの確認ということで、今回の申請しているHitz-B69 型に対して、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:11:52	確認した結果をお示して、説明させていただきました。
2:11:56	その上でたやすくということで、我々が現在型式証明申請を行っている、行った高安区につきまして、
2:12:07	こちらヒッピー24型及びHitz-B52型、
2:12:11	ウタございますが、こちらも同様の誤りがないことを、
2:12:15	再チェック
2:12:15	を実施して、この
2:12:18	同様の誤りがないことを確認いたしましたのでこちらについては各確認しましたというご報告になります。以上であります。
2:12:59	はい、ご理解と
2:14:43	はい。日立造船の緒方です。ご指摘の範囲内容をご理解しその通りですが、こちらですね前回の審査会合ということで、
2:14:51	参考資料として後ろに、前回までの説明内容をつけさせていただいております。
2:14:57	こちらが指摘事項No. 10、
2:15:00	ということで34ページから36ページ。
2:15:03	こちらで実際の
2:15:05	翌夕方の0までに対する対応というのを説明させていただいております。
2:15:11	そしてさらに先ほどの9確認体制ということで、36ページ目に、はい。
2:15:16	決めさせていただいております。
2:15:18	今回は回答その上で他も確認し、について
2:15:24	高安久野についての確認ということでありますので今回特に
2:15:29	その部分だけ示させていただいております。
2:16:39	はい。日立造船の小倉です。社内の水平展開
2:16:43	で、
2:16:46	そっちのところの水平展開ってのは、具体的には、
2:16:50	こちらに書かせていただいております通り、実際の計算書ですね、の誤りですので、計算書を、再度再チェック、こちら側の社内の体制に基づいて、ダブルチェックを行っている。
2:17:01	ところです。
2:17:02	そして
2:17:03	さらに再チェック内容として今回間違った部分に関して、是正するということと、あとそれと伴って
2:17:12	加速度が明記しないという、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:17:15	計算のチェックの上で、さらに同様の誤りですね今回その数字の
2:17:22	取り違えというのがございましたのでこういうのないことも含めて、チェック、ダブルチェックして行いました。さらに社内の体制の確立はそれを社内の
2:17:33	従事者全員に周知教育して徹底したということです。
2:17:42	こちらが 34 ページの処置のところの内容と、
2:17:50	ダブルチェックに関しましては 36 ページのこの社内の確認体制、こちらに示している体制でやり方で確認をしております。
2:18:08	ダブルチェック自体は、こちらの作成した計算書は、元設計者以外による検証を行うということで、当然チェックアノ作成者以外の者がやると。
2:18:29	このチェックのあり方につきましては管理規定に従って、
2:18:32	もともとの当初の管理、
2:18:35	規定に従って、こういったやり方をやっている。
2:19:46	ありがとうございました。
2:19:51	成長。
2:20:15	前回から変わった点、もしくは、
2:20:23	ちょっと私が 1 点になったのが、
2:20:26	16 条の一番最後、
2:20:28	最後
2:20:30	時期が、はい。
2:20:52	はい。日立造船の方ですご確認ありがとうございました。特にこちらの提出時の、すいません 11 月下旬と書かせていただいたのは、提出時の見込みということで示させていただきました。
2:21:03	ですから現実に合わせて今度、次回は修正いたします。はい。それで我々の希望としましては、この審査会合、
2:21:11	2 月Ⅱの中の見込みというふうなことで計画を考えておりまして、今回の新コメン等に関しましては、
2:21:25	それで今回のコメント等に関しましては必要であれば、その審査会合までにもう、
2:21:30	そして田山さん。
2:21:32	ヒアリングさせていただけると。
2:21:34	より審査会合に向けて準備ができるかなと思っております。
2:25:07	大丈夫です。日立造船の樋口でございます
2:32:19	すいません失礼いたしました。泉事項
2:34:08	ありがとうございました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:34:13	どうもありがとうございました。
---------	-----------------

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。